



おお ひら たく ま
大平 卓 磨

生年月日 1978年10月大阪府生まれ
最終学歴 2003年京都工芸繊維大学
大学院工芸科学研究科造
形工学修士課程修了

業務経歴 2003年㈱竹中工務店入社
2004年 東京本店設計部
2006年～大阪本店設計部

●担当した主なプロジェクト

2004年 汐留芝離宮ビルディング
2005年 熱海ゴルフ倶楽部
2006年 松下PDP第4期
2008年 KDX小林道修町ビル
2010年 不二電機みなみ草津工場
2013年 コマツリフト堺支店
2013年 ミルボン中央研究所
2014年 サントリーワールド
リサーチセンター

■青年技術者のことば

社会人として建築に携わり10年が経った。建築はひとりではできないのではないので、つくりあげる過程で様々な人々と触れ合ってきた。思えば私はいつも建築を通じて社会と接している。

設計という職能は、建築条件や敷地、プログラムといった毎回異なる様々なものと一緒に向き合わなければならない。そういった個別の事象の連続や積み重ねが設計者としての現在の自分を形成しているといえるのかもしれない。

また新しい創造とは決して過去と無関係に突然生まれるものではない。そう考えると建築を通して触れてきた社会との連続性そのものが設計者の創造力や意志のようなものとなり、できあがった建築の個性となって現れているのではないかとおもえる。だが経験を積むにつれ、少し前の過去の自分から自由になることも必要であり、むしろそこが一番難しいのではないかとさえ感じる。

ある連続性の中に身をおきつつもいつも真っ新でニュートラルでいること。これからその姿勢を忘れず建築と向き合っていきたい。

■すいせん者

藤原則行
(株)竹中工務店 大阪本店
設計部 第3部長



コマツリフト堺支店 (2013)

郊外型の整備工場である。リニアな既存緑地を十分に活かし、ランドスケープと建築が一体となるよう、水平で伸びやかな構成を実現させ、敷地全体に潤いをあたえている。



ミルボン中央研究所 (2013)

住宅地に建つ都市型の研究所である。「外に閉じ内に開く」構成とし、機能分解されたそれぞれのボリュームが隙間をもって積み重なることにより、外部空間を立体的に内包したような建築となっている。